

## 品川教育の実践

# 品川英語力向上推進プラン

品川区では、平成18年度より1年生から6年生を対象に「英語科」を実施するとともに、独自のカリキュラムに基づいた9年間の系統的な英語教育を展開しています。

### 1・2年生

#### 学級担任とALTによる授業（年間35時間）

学級担任がALT（外国語指導助手）と協力して授業を行っています。児童はALTの話すネイティブの英語を聞くことで、英語の音声に慣れ親んでいきます。



### 3～6年生

#### 学級担任とJTEによる授業



（3・4年生：年間35時間）

（5・6年生：年間70時間）

学級担任とJTE(英語専科指導員)がチームティーチングで授業を行っています。児童は文部科学省作成教材や教科書を使用して学ぶとともに、系統的なリタラシー学習や物語を題材にした学習に取り組んでいます。

#### ジュニア・イングリッシュキャンプ（4年生）

4年生までの「英語に親しむ」学習のまとめと5年生以降の「英語を使う」学習への意識付けを目指して、ジュニア・イングリッシュキャンプを行っています。

各学校は、会場として自校または「TOKYO GLOBAL GATEWAY BLUE OCEAN」を選ぶことができます。どちらの会場においても、すべて英語による体験活動を行います。



## 7～9年生

### 教科担任とALTによる授業

全ての学校で、教科担任がオールイングリッシュを基本とする少人数指導を実施しています。また、年間10時間、ALT（外国語指導助手）による授業を行うことで、ネイティブスピーカーとのコミュニケーションを図ります。

### 品川オンラインレッスン



インターネットを使って、海外の講師からマンツーマンの指導を受けます。授業で身に付けた英語を活用する学習です。

（7年生：25分×年間4回実施）  
（8年生：25分×年間8回実施）  
（9年生：25分×年間4回実施）

### スコア型4技能検定の実施

9年間の英語学習の成果を総合的に判断するため、9年生で4技能（聞く・読む・話す・書く）の測定を実施します。なお、「話す」については、採点の誤差が出ないように、タブレット端末を使って行います。

## 希望生徒を対象とした取組

### 品川区グローバル人材育成塾



7年生以上の希望者を対象に、放課後、ネイティブスピーカーによる少人数の英会話レッスンを行っています。コミュニケーション重視の授業です。  
（9月に開講し、翌年7月まで年間25回実施）

### イングリッシュキャンプ



品川区グローバル人材育成塾で学んだ英語力を生かし、福島県のプリティッシュヒルズで英語漬けの2泊3日を過ごします。このキャンプでは、テーブルマナーや建築様式など英国の文化にも触れることができます。

# 品川教育の実践

## 市民科

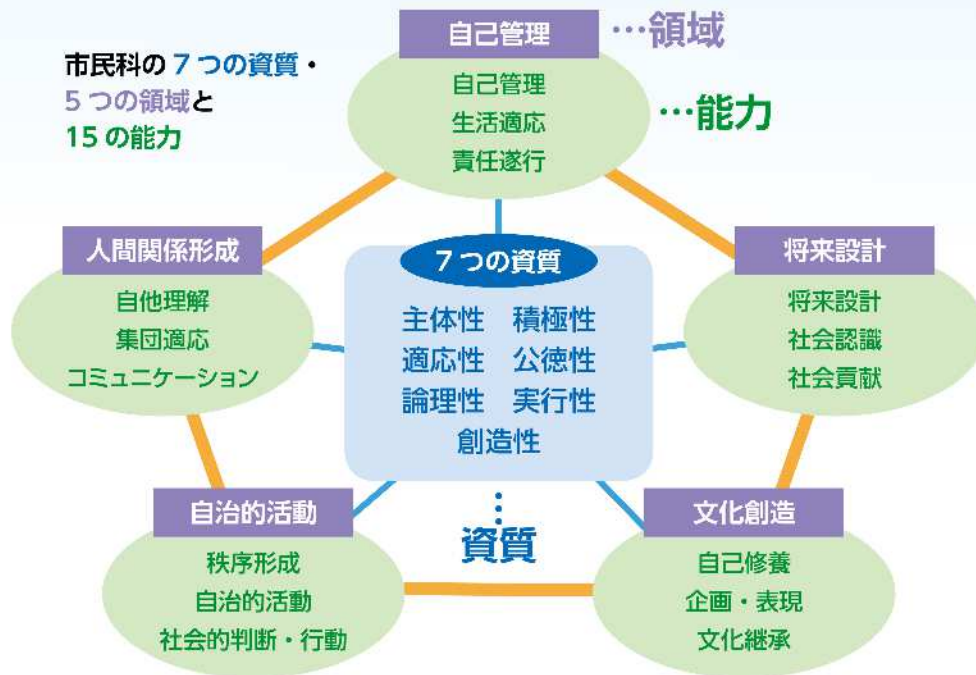
市民科は、特別の教科 道徳、特別活動、総合的な学習の時間を統合・再構築した品川区の独自教科です。

平成18年度より、義務教育9年間を通した系統的な指導で、市民（社会の形成者）としての資質と能力を育てています。

また、令和2年度からは、各中学校区で目指す児童・生徒の育成をねらいとした「一貫プラン」を3年生から9年生で実施しています。

### 【市民科における資質と能力の考え方】

市民科では、市民として必要な汎用的な「能力」を身に付け、潜在的な可能性としての「資質」を高めます。



市民科学習の時間には、区で作成した市民科の教科書を使用して学習を進めます。単元の中での学習のステップを示し、上記で示した領域ごとの資質と能力を段階を追って身に付けていきます。

(平成30年度からは「特別の教科 道徳」の教科書も併せて活用しています。)



## 市民科学習は、5つのステップに沿って進めます。



- この5つのステップを通して、児童・生徒は自ら課題を捉え、解決する力を身に付けるとともに、変化の激しい社会にも対応できる資質と能力を育てていきます。

### 市民科学習の特色ある体験活動



茶道  
(3年生・4年生)



スチューデント・シティ  
(5年生)



ファイナンス・パーク  
(8年生)

注) 7つの資質と15の能力、5つのステップは、「品川区立学校教育要領」に基づきます。

注) 令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、スチューデント・シティは第5・6学年で実施しています。